



平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月13日

上場取引所 東

上場会社名 フリービット株式会社

コード番号 3843 URL <http://www.freebit.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 伸明

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営管理本部長

(氏名) 和田 育子

TEL 03-5459-0522

四半期報告書提出予定日 平成27年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	15,764	2.5	836	△7.9	728	△12.9	797	376.2
26年4月期第3四半期	15,382	△0.5	908	58.2	836	186.6	167	—

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 952百万円 (292.2%) 26年4月期第3四半期 242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	40.79	40.70
26年4月期第3四半期	8.57	8.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	18,293	7,398	36.6
26年4月期	16,732	6,486	36.1

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 6,692百万円 26年4月期 6,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年4月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	11.3	1,500	13.6	1,350	10.7	600	154.5	30.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) フリービットクラウド株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期3Q	20,414,000 株	26年4月期	20,414,000 株
② 期末自己株式数	27年4月期3Q	868,800 株	26年4月期	868,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期3Q	19,545,200 株	26年4月期3Q	19,544,530 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1) 本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
- 2) 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手若しくは閲覧の方法
- ・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
 - ・決算説明内容は、その記録動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

当社グループは、中期経営計画『SiLK VISION 2016』の2年目において、将来の成長が予想される3つの領域「モバイル革命」、「生活革命」、「生産革命」への徹底した顧客志向のサービス投入をテーマとし、以下の平成27年4月期の基本方針に則り引き続き事業を展開いたしました。

<平成27年4月期基本方針>

1. モバイル事業の成長

- ・「freebit mobile」のユーザー数拡大及び「YourNet MVNO Pack」のパートナー企業の拡大
- ・競争力のあるコスト構造の構築

2. クラウド事業の成長

- ・競争力のあるコスト構造とサービスの構築及び回線／クラウド／アプリの統合サービスの提供

3. アドテクノロジー事業の成長

- ・子会社の株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」）との積極的な技術融合によるDSP／3PASの開発を推進し、アドテクノロジー企業としての地位の確立を目指す

4. 新規事業の立上げ

- ・M2M／ビッグデータ技術を利用した医療周辺サービスの第2弾展開

5. 戦略的投資の実行

- ・グループブランド構築のための継続的投資
- ・成長の下支えとしてコア事業関連の買収戦略の実行

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き上記基本方針に則り、今後のさらなる事業拡大を目的とした事業戦略の推進に注力いたしました。

特に、注力するモバイル事業においては、当社がB2B領域でMVNE（Mobile Virtual Network Enabler）として提供している「YourNet MVNO Pack」が短期間かつ低コストでMVNO（Mobile Virtual Network Operator）事業を立ち上げられることが高く評価され、新たに市場参入する企業に順調に採用されることとなりました。BtoC領域では、MVNOとして子会社の株式会社ドリーム・トレイン・インターネット（以下、「DTI」）が提供するモバイル通信サービス「ServersMan SIM LTE」が堅調に推移いたしました。そして、グループ総力を結集して注力するスマートフォン事業「freebit mobile」については、戦略的ブランドマーケティングを企図した計画投資を行い、商品の企画・開発のみならず、積極的な販路拡大を実施し、オンライン、直営店舗、移動店舗、テレビ・ラジオショッピング、パートナープログラムに加え、独自方式のフランチャイズプログラムの展開を開始いたしました。その結果、幅広い層へのフリービットブランドの認知度向上に貢献いたしました。

これらモバイル革命における実績を踏まえ、当社グループは今後さらなる事業拡大を目指す上で、迅速な意思決定と効率的な事業運営を企図し、「freebit mobile」をDTIが平成27年1月16日に設立した新会社「フリービットモバイル株式会社」（平成27年3月1日付で「トーンモバイル株式会社」に商号変更。以下、「フリービットモバイル」）に平成27年3月1日付で承継させ分社化することを決定いたしました。

クラウド事業においては、市場において様々なクラウドサービスが乱立しつつあることによる過当競争傾向を予め推知し、競合企業に先駆けて事業の選択と集中をはかり事業効率の向上を目論んだことで、売上高は減少したもののセグメント損益は黒字転換いたしました。また、今後の市場動向を俯瞰したうえで当社グループの事業企画力を活かしたプロダクト投入を開始いたしました。

アドテクノロジー事業においては、フルスピードが“Ad Technology & Marketing Company”として“創る機能”と“販売する機能”の両軸による国内唯一のハイブリッド型ネット広告代理店の確立に向けて事業を展開しており、当社グループの強みを活かした自社開発による独自のソリューションプロダクトを投入していくことで、競合他社との差別化を図っております。

以上の結果、売上高は15,764,303千円（前年同期比2.5%増）、営業利益は836,675千円（前年同期比7.9%減）、経常利益は728,077千円（前年同期比12.9%減）となりました。

また、第1四半期連結会計期間に、子会社であったフリービットクラウド株式会社を平成26年5月1日付でDTIに吸収合併したことにより繰延税金資産を計上したことに加え、第2四半期連結会計期間において、フルスピードが発行した新株予約権が行使されたことに伴う持分変動利益及びフルスピードが投資有価証券を売却したことによる投資有価証券売却益を計上したことで、四半期純利益は797,338千円（前年同期比376.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ブロードバンドインフラ

モバイルサービスへのユーザー移行が一巡したことで、固定網による収益が安定化したことに加え、「YourNet MVNO Pack」の採用企業増加と採用企業によるエンドユーザー向け販売増加により、エンドユーザー数は好調に推移しました。また、マンションインターネットサービスを主な事業とする子会社の株式会社ギガプライズにおきましても、販路拡大施策や先行投資、サービス品質向上施策が結実し、エンドユーザー数が大幅に増加しました。

一方で、回線品質向上やエンドユーザー数増に伴う基幹網増強コストが増加しましたが、上記収益増で吸収した結果、売上高は6,458,228千円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益は858,455千円（前年同期比59.6%増）と大幅な増収増益となりました。

② クラウドコンピューティングインフラ

主力サービスである「フリービットクラウドVDC」の既存ユーザーをターゲットにサービス利用増加促進策を講じるとともに、新規顧客獲得に邁進したこと及び体制面並びにコスト構造等の改革により利益が増加しました。

以上の結果、売上高は1,529,320千円（前年同期比9.1%減）、セグメント利益は96,109千円（前年同期は54,974千円のセグメント損失）となりました。

③ アドテクノロジーインフラ

インターネット広告事業を主な事業とするフルスピードは、“Ad Technology & Marketing Company”をビジョンに掲げ、既存事業であるインターネット広告代理店事業や同社子会社の株式会社フォアイトが展開する「アフィリエイトB」等の拡販を強化し確固たる収益を確保する一方で、拡大するRTB（リアルタイム入札）型ディスプレイ広告市場に向けて「AdMatrix」ブランドで展開するインターネット広告統合管理ツールの展開を推進し、新たな事業の柱にするべくアドテクノロジーカンパニーへの転換を企図した取り組みを進めています。

以上の結果、売上高は5,864,297千円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は348,540千円（前年同期比12.7%減）となりました。

④ 次世代インターネット・ユビキタスインフラ

特許技術をはじめとした当社独自技術によるM2M関連のサービス展開を引き続き行うとともに、当社グループの戦略プロダクトであるスマートフォン「PandA」のハードウェアバージョンアップを行いました。また、M2M関連のノウハウを活かした「PandA」用アプリを開発し利便性向上による競合他社との差別化をはかりました。

以上の結果、売上高は32,732千円（前年同期比35.7%増）、セグメント損失は158,295千円（前年同期は183,387千円のセグメント損失）となりました。

⑤ B2C

固定回線については、減衰率がとどまりつつありながらも未だ完全な回復基調には至っていませんが、成長を続けるモバイル事業については「freebit mobile」及び「ServersMan SIM LTE」によるMVNOサービスの利用者獲得が堅調に推移いたしました。なお、「freebit mobile」については、販売エリア拡大及び積極的プロモーション等の戦略的投資を実行いたしました。

以上の結果、売上高は3,475,544千円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益は146,349千円（前年同期比78.2%減）となりました。

セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失（△）
ブロードバンドインフラ	6,458,228	858,455
クラウドコンピューティングインフラ	1,529,320	96,109
アドテクノロジーインフラ	5,864,297	348,540
次世代インターネット・ユビキタスインフラ	32,732	△158,295
B2C	3,475,544	146,349
その他	114,543	5,575
調整額	△1,710,363	△460,059
合計	15,764,303	836,675

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,293,812千円となり、前連結会計年度末と比べて1,561,177千円増加しました。これは主として、現金及び預金が1,540,398千円増加したことによるものです。

負債は10,895,372千円となり、前連結会計年度末と比べて649,408千円増加しました。これは主として、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が618,711千円減少したものの、未払金が333,021千円及び短期借入金が1,048,336千円増加したことによるものです。

純資産は、主に四半期純利益及び少数株主持分の増加により、前連結会計年度末と比べて911,768千円増加の7,398,439千円となり、この結果、自己資本比率は36.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績が概ね想定通り推移しているため、平成26年6月13日に公表しました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、フリービットクラウド株式会社については、平成26年5月1日付で株式会社ドリーム・トレイン・インターネットと合併したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,761,917	6,302,315
受取手形及び売掛金	2,947,579	3,007,124
商品及び製品	84,388	125,750
仕掛品	2,652	5,192
原材料及び貯蔵品	4,908	7,139
その他	2,388,478	2,437,527
貸倒引当金	△159,139	△226,960
流動資産合計	10,030,784	11,658,089
固定資産		
有形固定資産	1,937,816	1,951,977
無形固定資産		
のれん	2,900,441	2,399,638
ソフトウェア	247,410	383,242
その他	168,403	96,059
無形固定資産合計	3,316,256	2,878,941
投資その他の資産		
投資有価証券	967,117	925,401
差入保証金	376,129	394,651
その他	520,283	927,290
貸倒引当金	△415,753	△442,538
投資その他の資産合計	1,447,778	1,804,805
固定資産合計	6,701,850	6,635,723
資産合計	16,732,635	18,293,812
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,242	61,551
短期借入金	1,382,500	2,430,836
1年内返済予定の長期借入金	2,066,511	1,872,986
未払金	3,247,706	3,580,728
未払法人税等	192,217	172,099
引当金	78,874	53,145
その他	897,034	887,790
流動負債合計	7,915,086	9,059,136
固定負債		
長期借入金	1,622,188	1,197,002
引当金	23,215	21,986
その他	685,472	617,247
固定負債合計	2,330,877	1,836,236
負債合計	10,245,964	10,895,372

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,045,685	3,045,685
資本剰余金	1,673,902	1,673,902
利益剰余金	1,782,392	2,448,644
自己株式	△488,747	△488,747
株主資本合計	6,013,232	6,679,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,083	△24,151
為替換算調整勘定	24,031	37,440
その他の包括利益累計額合計	29,115	13,288
新株予約権	828	12,476
少数株主持分	443,495	693,190
純資産合計	6,486,671	7,398,439
負債純資産合計	16,732,635	18,293,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	15,382,387	15,764,303
売上原価	9,437,589	10,096,200
売上総利益	5,944,798	5,668,103
販売費及び一般管理費	5,036,230	4,831,428
営業利益	908,567	836,675
営業外収益		
受取利息	1,597	739
受取配当金	204	2
貸倒引当金戻入額	38,500	—
投資有価証券評価益	—	19,890
受取保険料	5,678	—
その他	3,551	14,276
営業外収益合計	49,531	34,909
営業外費用		
支払利息	74,419	59,284
持分法による投資損失	39,703	14,455
支払手数料	—	64,543
その他	7,929	5,222
営業外費用合計	122,053	143,506
経常利益	836,045	728,077
特別利益		
持分変動利益	—	79,355
投資有価証券売却益	—	103,156
子会社株式売却益	13,461	—
特別利益合計	13,461	182,512
特別損失		
減損損失	41,458	—
固定資産除却損	—	8,111
投資有価証券評価損	—	13,449
過年度決算訂正関連費用	169,660	—
その他	35,995	37
特別損失合計	247,115	21,598
税金等調整前四半期純利益	602,391	888,991
法人税、住民税及び事業税	169,379	319,211
法人税等調整額	206,646	△394,880
法人税等合計	376,026	△75,668
少数株主損益調整前四半期純利益	226,365	964,660
少数株主利益	58,916	167,321
四半期純利益	167,448	797,338

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	226,365	964,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	△29,301
為替換算調整勘定	8,524	10,062
持分法適用会社に対する持分相当額	8,084	7,188
その他の包括利益合計	16,538	△12,050
四半期包括利益	242,904	952,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,024	781,512
少数株主に係る四半期包括利益	58,879	171,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティングイ ンフラ	アドテクノロジ ーインフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	4,367,930	1,533,024	5,510,817	22,438	3,771,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,373,144	149,295	28,852	1,681	2,009
計	5,741,075	1,682,319	5,539,670	24,119	3,773,356
セグメント利益又は損失(△)	537,860	△54,974	399,154	△183,387	671,851

(単位:千円)

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	176,828	15,382,387	—	15,382,387
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,524	1,570,508	△1,570,508	—
計	192,352	16,952,895	△1,570,508	15,382,387
セグメント利益又は損失(△)	△2,394	1,368,110	△459,543	908,567

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△459,543千円には、のれん償却額△480,411千円、貸倒引当金の組替額11,262千円及びその他の連結調整額9,605千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成26年5月1日 至 平成27年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	ブロードバンド インフラ	クラウドコンピ ューティングイ ンフラ	アドテクノロジ ーインフラ	次世代インター ネット・ユビキ タスインフラ	B2C
売上高					
外部顧客への売上高	4,967,271	1,362,241	5,829,523	24,326	3,470,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,490,956	167,079	34,773	8,405	5,321
計	6,458,228	1,529,320	5,864,297	32,732	3,475,544
セグメント利益又は損失（△）	858,455	96,109	348,540	△158,295	146,349

（単位：千円）

	その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高				
外部顧客への売上高	110,717	15,764,303	—	15,764,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,825	1,710,363	△1,710,363	—
計	114,543	17,474,666	△1,710,363	15,764,303
セグメント利益又は損失（△）	5,575	1,296,734	△460,059	836,675

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△460,059千円には、のれん償却額△467,844千円、貸倒引当金の組替額1,093千円及びその他の連結調整額6,692千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、ブロードバンドインフラ、クラウドコンピューティングインフラ及びアドテクノロジーインフラに関する一部の費用の配賦方法を各セグメントの事業実態にあった合理的な基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。